



## 気仙川流域環境フォーラムを開催

NPO法人環境パートナーシップいわて&津付ダム建設事務所

早春の3月10日(土)、住田町内においてNPO法人「環境パートナーシップいわて」と大船渡地方振興局土木部津付ダム建設事務所の協働企画・運営により、気仙川流域環境フォーラムを開催しました。

このフォーラムは、主に気仙川流域に住む皆さんを対象に、大人と子どもが環境について共に考える機会を提供することを目的としたものです。

小中学生の部に参加した子どもたちは、森と海をつなぐ魚と言われる「ヒカリ」の釣り体験に挑戦したものの、水温が低かったこともあり釣果は今ひとつでしたが、新しい発見と大きな感動に歓声が絶えませんでした。

午後に開催された一般の部では、講師としてお招きした「くりこま高原自然学校」の佐々木豊志校長から、7泊8日の北上川ボート下りや冬の栗駒山キャンプなどの活動を例にして、『知識の習得である教科教育では身につかない「考える力」と「豊かな感性」は、過程から学ぶ「体験学習」により養っていくことが大切』とのお話がありました。

また、地元で環境保全活動等を行っている団体の事例発表を行った後、「環境と子どもたちのために、今できること」について意見交換を行いました。

今回のフォーラムをひとつの契機として、住民の皆さんによる環境保全活動の輪が更に広がり、次世代を担う子どもたちに受け継がれていくことが期待されます。



ヒカリ釣りに挑戦した35名の子どもたち



川での釣りは、ルールを守って安全に！



来場者も積極的に発言した意見交換会

フォーラムでの事例発表団体  
横田小学校PTA：菅野広紀さん  
川の駅よこた：白川周一さん  
(以上、陸前高田市)  
すみた森の案内人：佐々木慶逸さん  
緑のふるさと協力隊：若嶋和絵さん  
(以上、住田町)  
ALIVE SC：高橋渉さん  
(以上、遠野市)

問い合わせ 津付ダム建設事務所 TEL0192-48-3123